

地域計画

策定年月日	令和7年3月25日
更新年月日	()
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	唐津市 (41202)
地域名 (地域内農業集落名)	八床 (八床)

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	56.5 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	54.0 ha
② 田の面積	18.3 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	36.4 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考) 区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	－ ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	－ ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

本地域は、居住区の周辺にまとまった水田地帯があり、その周りを囲うように畑地が広がっている。一部では、美容化粧品等の原料となるハーブの栽培にも力を入れており、作付面積の拡大に努めている。中山間地域等直接支払事業や多面的機能支払事業を活用し、地域で農地の管理を行っている。 地域の課題として、農業者の高齢化が進んでおり人手不足による遊休農地の増加が懸念される一方で、年中イノシシ等の被害も多い地域であることから、有害鳥獣対策も継続して行う必要がある。 【地域の基礎データ】 農業者24人(認定農業者:2人、利用者:22人) 作物:水稲、野菜、ハーブ

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

今後も中山間地域等直接支払事業や多面的機能支払事業の取り組みを継続し、水田の水稲及び畑地の野菜の生産を行いながら、地域全体で農地を維持管理を行っていく。また、地域の構想として段階的にハーブ等の作付け面積を拡大し、唐津コスメティック事業の受け皿を目指す。 課題の1つである有害鳥獣対策として、補助事業を活用し地域内のWMや電牧、はこ畠等の設置数を増やして被害防止を図る。
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
離農や規模縮小のタイミングで、現在の担い手への農地の集積・集約化を行い、並行して担い手の農作業に支障がない範囲で農地利用者による農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	2	%	将来の目標とする集積率
			4 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手となる農家を中心に集約化を進め、目標集積率の達成を目指す。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
現在、中山間地域等直接支払事業や多面的機能支払事業で管理している農地を中心に、担い手同士で協力しながら集積と集約を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
地域としての活用方針は定めず各個人の判断に委ねるが、耕作利便性向上のための農地貸借などを実施する際は、活用する。
(3)基盤整備事業への取組
現在のところ取り組む意向はない。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
地域として、多様な経営体の参入を積極的に呼びかけることはないが、コスメ原料素材の栽培などで申し出等あれば柔軟に対応したい。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地域としての活用方針はなく、各個人の判断に委ねる。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 15 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
認農		玉ねぎ	0.5 ha	0 ha	玉ねぎ	1.4 ha	0 ha	1	
認農		たばこ	0.6 ha	0 ha	たばこ	1.1 ha	0 ha	2	
利用者			2.1 ha	0 ha		0.5 ha	0 ha	3	
利用者			1.3 ha	0 ha		0.6 ha	0 ha	4	
利用者		水稻、野菜、花	2.8 ha	0 ha	水稻、野菜、花、ハーブ	2.8 ha	0 ha	5	
利用者		水稻、飼料作物	3.6 ha	0 ha	水稻、飼料作物	3.2 ha	0 ha	6	
利用者		水稻、玉ねぎ、葉もの	2.3 ha	0 ha	じゃがいも	0.6 ha	0 ha	7	
利用者		野菜	2.3 ha	0 ha	野菜	1.9 ha	0 ha	8	
利用者		水稻、たばこ、玉ねぎ、ハーブ	4.8 ha	0 ha	水稻、たばこ、玉ねぎ、ハーブ	1.9 ha	0 ha	9	
利用者		水稻、ハーブ	0.7 ha	0 ha	ハーブ	0.3 ha	0 ha	10	
利用者		水稻、イモ、ジャガイモ	0 ha	0 ha	水稻、イモ、ジャガイモ	0.8 ha	0 ha	11	
利用者		ハーブ	0.9 ha	0 ha	ハーブ	0.5 ha	0 ha	12	
利用者		キャベツ、ネギ	1 ha	0 ha	キャベツ、ネギ	1 ha	0 ha	13	
利用者		水稻、ゴボウ	0 ha	0 ha		0.4 ha	0 ha	14	
利用者		キャベツ	0.7 ha	0 ha	キャベツ	0.7 ha	0 ha	15	
利用者		水稻	1 ha	0 ha	水稻	0.5 ha	0 ha	16	
利用者			0.6 ha	0 ha		0.5 ha	0 ha	17	
利用者			2.6 ha	0 ha		0.9 ha	0 ha	18	
利用者			0 ha	0 ha		1 ha	0 ha	19	
利用者			0 ha	0 ha	水稻	2 ha	0 ha	20	
利用者			0.2 ha	0 ha		0.2 ha	0 ha	21	
利用者			1.6 ha	0 ha		1.6 ha	0 ha	22	
利用者			0.1 ha	0 ha		0.1 ha	0 ha	23	
利用者		WCS用稲	0.3 ha	0 ha		0.3 ha	0 ha	24	
計			30.0 ha	0 ha		24.8 ha	0 ha		

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。